

学研都市記者クラブ、京都経済記者クラブ、京都府政記者クラブ
奈良県政記者クラブ (14:00 同時資料配付)



報道資料

「けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム」令和5年度一般公開 WEB セミナー 「ロボット技術でスマートシティの未来を拓く」の開催について

令和5年6月21日
(公財) 関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室

未来社会やマーケット予測に基づく新事業・新産業創出を目的に、産官学連携・オープンイノベーションの推進を図るため、本推進機構が2016年に設立した「けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアム」も8年目を迎え、「公道走行実証実験プラットフォーム (K-PEP)」や「Clubけいはんな」の活用が進むなど、新事業・産業の創出に向けた様々な活動を展開しているところです。

来る7月10日(月)には「けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム」一般公開 WEB セミナーを開催し、当コンソーシアムの具体的な活動状況・成果や今後の計画をご紹介するとともに、「ロボット技術でスマートシティの未来を拓く」をテーマとして、ロボット技術の最新の動向や今後の展望等について、お二方にご講演いただきます。多くの皆さまからのお申込みをお待ちしております。

記

- 1 日時 令和5年7月10日(月) 13:50~16:00
- 2 開催等 Zoom Webinar によるオンライン講演
- 3 内容

(1) コンソーシアム活動状況について

関西文化学術研究都市推進機構 新産業創出交流センター長 湯瀬 敏之 (ゆのせ としゆき)

(2) 特別講演

- 「経済産業省が進めるロボット政策～ロボットフレンドリーな環境の実現に向けて～」
経済産業省 製造産業局 ロボット政策室 課長補佐 板橋 洋平 氏 (いたばし ようへい)
- 「街角でのヒューマンロボットインタラクション」
国立大学法人 京都大学大学院 情報学研究科 教授 神田 崇行 氏 (かんだ たかゆき)

- 4 参加申込 <https://www.kri.or.jp/contact/rdic-2023.html>

【お問合せ】

(公財) 関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室 RDMM 支援センター 担当：藤川
TEL：0774-95-5047 Eメール：rdmm@kri.or.jp

<参考>

■ 「けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム」

2016年5月発足のRDMM支援センターが事務局を務めるコンソーシアム組織で、新事業・新産業創出に向けたワーキング活動や共同研究開発プロジェクト等に取り組んでいる。

会員数129(内企業103)、会長；塩崎一裕奈良先端科学技術大学院大学学長(令和5年3月末時点)

<https://www.kri.or.jp/conso/>

■ 「Club けいはんな」

2016年11月設立の住民によるサポーター組織で、アンケート調査、ワークショップ(アイデアや有効性の検討等)、実証実験への参画等に取り組み、生活者目線での意見等を研究開発等に活用している。会員数3,317名(令和5年3月末時点)

<https://www.kri.or.jp/rdmm/club/>

■ 「けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム」

2018年3月から、我が国初の自動運転等の新技術や次世代交通システムの確立に向けた、企業乗合型・住民参加型公道走行実証実験プラットフォーム(K-PEP)の提供を開始。これまで19社が27回(令和5年3月末時点)実証実験を実施し、未来の交通システム実現に向けた検討の加速を支援。

<https://www.kri.or.jp/rdmm/tokku/>

けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム第8回総会

一般公開WEBセミナー

ロボット技術でスマートシティの未来を拓く

近年、急速に拡大するAI, IoTなどのデジタル技術を活用したロボット技術について取り上げます。最新の動向や今後の展望等をご紹介いただき、未来に向けた新しい暮らし方や働き方、地域全体の活性化に向けた新たなイノベーションや産業創出を目指す契機とします。

(※けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム第8回総会は会員向けに7月6日に開催します)

プログラム

13:50 挨拶 コンソーシアム副会長 堀場 厚

13:55 コンソーシアム概要説明と全般の進捗報告
推進機構新産業創出交流センター長 湯瀬 敏之

特別講演

14:10~14:50 「経済産業省が進めるロボット政策
～ロボットフレンドリーな環境の実現に向けて～」
経済産業省製造産業局ロボット政策室 課長補佐
板橋 洋平 氏

15:00~16:00 「街角でのヒューマンロボットインタラクション」
国立大学法人京都大学大学院情報学研究科 教授
神田 崇行 氏

16:00 閉会御礼

一般公開WEBセミナー

令和5年7月10日(月)

13:50~16:00



板橋 洋平 氏



神田 崇行 氏



参加のお申し込みはQRコードまたはURLから (7月10日(月)10:00締切)

<https://www.kri.or.jp/contact/rdic-2023.html>



けいはんな
学研都市

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室



RDMM 支援センター

主催：公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

共催：公益社団法人 関西経済連合会

後援：公益財団法人 国際高等研究所

Clubけいはんな サポートサービス

生活者目線を研究開発に活かし
新規事業創出に欠かせない
「マーケットの本質」探索をサポートします。



Keihanna
Science City

Clubけいはんなサポートサービスは生活者目線を
新ビジネス創出に組み込むサービスです。

K-PeP

ご利用料金

- ・基本分担金 10万円 / 年
- ・設備設置・変更 (5万円～)
- ・住民周知 (5万円～)
- ・各種許認可 (5万円～)
- ・Clubけいはんな利用 (5万円～) ・その他

インターネットアンケート

Clubけいはんな会員の全員もしくは抽出した一部よりWeb調査で質問に答えて頂く



ワークショップ

企業とClubけいはんな会員が共同で検討テーマに対する問題や解決方法を議論しながら新産業・新事業のアイデアを創出する



実証実験

Clubけいはんな会員に社会実証実験のモニターとなって頂き、実用化に向けた意見を頂く



プロトタイプ評価

Clubけいはんな会員数名のメンバーで構成し、議論しながら企業が作成した試作品の評価を行う



優れた道路環境と立地施設の協力



住民協力による実証・評価が可能

2022年度活動

Web調査

・日常生活の中での健康との関わりについて / 京都スマートシティエキスポ2022

・2025年以降の環境意識 / 京都スマートシティエキスポの知名度



ワークショップ

けいはんなデジタルツイン住民ワークショップ 避難誘導アプリを使ったフィールド実証(避難訓練)



実証実験



お問い合わせは

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室

RDMM RDMM 支援センター

〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台1丁目7
けいはんなプラザラボ棟3F
Email:rdmm@kri.or.jp
URL:www.kri.or.jp/rdmm/

施設の共同利用で研究開発コスト低減



警察・行政の支援を得て素早い対応が可能



オープンで誰でも利用でき、自社に必要な
研究・開発を自由に行えるプラットフォーム

各社が乗りあう実証実験内容例

- A社: 車外センシング
- B社: 路車間連携
- C社: バス自動運行
- D社: 運行監視システム
- E社: ワンウェイ方式カーシェアリング
- F社: 運転者モニタリング
- G社: 車内センシング

※各社に必要なことが自由に研究・開発ができる
乗合型プラットフォームを提供(日本初)

けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム
(Keihanna Public road experimental Platform)

K-PeP